

広島市長 秋葉忠利 様

2010年2月10日
日本共産党市会議員団
団長 中森辰一
幹事長 中原洋美

広島市都市整備公社臨時職員の再就職先確保についての申し入れ

昨年11月に行われた広島市路上駐車場業務の、指定管理者の選定において、都市整備公社が選定されなかったことにより、これまでの広島市の路上駐車場業務を担ってきた都市整備公社の臨時職員39名が、職場を失うことになりました。

広島市都市整備公社の業務は、基本的に広島市の政策に基づいて行われ、そこに働く職員は、臨時職員を含めて、4年間にわたり広島市の公的責任を担ってきました。臨時職員の中には女性も4名おり、今年の4月以降、家族を含めて生活が脅かされています。

指定管理者制度は、数年毎の選定によって、それまで働いていた労働者の全員を解雇の危機に直面させる制度です。公益性の高い公務、公共職場で、こうした事態を引き起こす制度は、廃止を含め抜本的に改善することをこれまで、わが党市議団は求めてきました。

広島市は、これまで、指定管理者替えに伴う失業者は一人も出さないという立場で対応されてきましたが、今回の都市整備公社の臨時職員39名については、既に失職を通告されたまま、再就職のメドは何ら立っていません。自治体が、自ら導入した制度によって、働くものの職場を奪い、市民を路頭に迷わせることは、絶対にあってはならないことです。よって、わが党市議団は、以下のことを求めます。

- 1、今回、職を失う臨時職員39名については広島市の責任において、4月からの再就職先を確保すること。**
- 2、再就職先がない場合の生活支援策を講じること。**

以 上